幼児だより　６月号

2022.6.1発行

春の陽気な天気から汗ばむほどの暑い日もあり、不安定な気候ですね。
手洗い・うがいをしっかり行い今月も楽しんで元気に過ごしていきたいと思います。

野菜について知ろう

実物の野菜を触ってみて、ツルツルしてたりザラザラしていたり、の感触を確かめています。匂ってみることも自然とやっていた子どもたちです。

野菜のスタンプ

切った野菜の切り口がどんな模様になるのか、ワクワクしながらスタンプをしました。

野菜の土作り

くじらさん中心に、野菜の苗を植えるための土づくりをしました。プランターから元々あった土を全部出し、根っこなど不要な物を取り出します。そして新しい土を混ぜ合わせるのも一苦労。それでも友だちと一緒にすることで楽しく進めることができました。土が入ったプランターも力を合わせて運ぶ頼もしい子どもたちです。

野菜の苗を植えました

野菜の種類は、なすび・プチトマト・キュウリ・オクラ。くじらさんで決めたパプリカ。毎日の当番が水やりをします。
楽しみだね★

クッキング

ピーラーを使ってニンジンの皮引き

ピーマンの種取りとタマネギの皮むき

体育専門の先生（リーダーと呼んでます）の指導の下、子どもたちの運動面の発達を促す日が毎月２回あります。「おねがいします」と挨拶から始まり、準備体操、マットや平均台、鉄棒など年齢ごとの子どもの発達に添った運動を楽しんでいます。

コスモ運動遊び

らっこ　４月はいるかさんやくじらさんが“なにしてるんだろう”って園庭で遊びながらうらやましそうに見ていたらっこさんたち。５月からいよいよ始まりました。慣れないことに１回目は集まるのも一苦労。それでも動くことが大好きなので徐々にエンジンはかかりました。２回目は、１回目の楽しかったことを覚えていて、リーダーの話にも注目できるほどの変化に驚きました。

いるか
らっこさんで１年間の経験を経て逞しくなったいるかさん。今日は何をするのかなぁとワクワクしながら参加しています。出来ることも増えてこの１年の成長がたのしみです。

くじら
コスモがある日は、なんだかウキウキ。楽しみにしている気持ちが伝わってきます。らっこさん、いるかさんでの経験も自信に繋がっているのですが、くじらさんになると、更に難しい事にも挑戦していきます。少しの「できた!!」という思いがが子どもたちにとっては多大な喜びとなっています。

お友だちを助けたい

初めての公園に緊張しているＳくんは滑り台をじっと見つめ、決心して登り始めるも怖くて１歩踏み出し終わろうとしてました。
そんな姿を見たＲくんはすぐにＳくんに手を差し伸べてくれました。

ゆっくりでいいで

Ｒがおるからな
（自分がいるから安心してという意味です）

Ｓくんここやで

すごいな、Ｓくん

もう１回一緒にしよ

何度も繰り返し遊んでいるうちに１人でも登ることが出来ました★

年中の頃は自分のことが中心で、友だちへの関わりは（助ける際）半ば強引に助けてあげていたＲくんですが年長になり、友だちの表情を見ながら、友だちのペースで一緒に取りくみ、相手のペースに合わせて遊んでいる姿が成長したなぁと感じました。
小学校に上がるまでの３年保育（異年齢保育）で、自分中心の姿、自分と他者がいることに気づいて関わる姿、他者を思いやる姿、を見ていて、こうやって小学校に繋がっているのだと実感します。

自然が大好きな男の子

　雲が多く、その日の天気予報は、くもりのち雨。外遊びをしていると、「せんせい、くもが、はやい！」と、雲の流れが速いことに気付いて、指をさして教えてくれました。

　最近は、とにかく虫探しに夢中。保育園内はもちろんのこと、遊具がたくさんある公園に行っても、見向きもせず虫探しをしています。

　この男の子は、自然が大好きなんだなぁとつくづく思いました。もちろん、人工的に作られたおもちゃでもよく遊びます。でも、それより何より、自然を感じ、自然が好きで、自然と遊べる能力を持っている子なんだと思いました。そして自然の不思議にしぜんと気づいています。
また、自然に夢中になれる男の子を見て、大人たちは、ＳＤＧｓに取り組み、子どもたちのために未来を残さなければならないと、心から思いました。小さな学者さん！これからも、自然の不思議さを感じれる機会を持てるよう、私も保育の準備をしたいと思います。

自然と命をたいせつに

Ｙくんが三輪車で遊んでいます。地面に引いた白線を線路に見立てて、何度もぐるぐると回っていました。

途中でピタッと止まるＹくん。下を見てじっとしています。Ｙくんが止まっている後ろには他のお友達も来て、Ｙくんが動き出すのを待っています。
あまりにもじっとしているので、何か理由があると思いＹくんに聞いてみました。

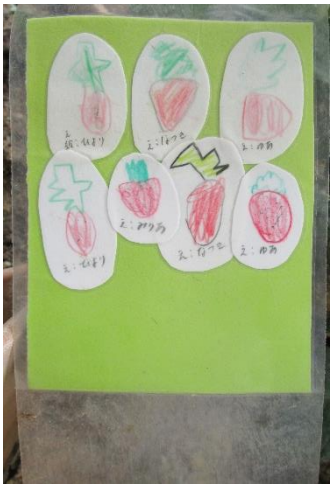
「え？」と思ってＹくんの視線の先を見ると、白線の上をアリが歩いています。
Ｙくんはアリを三輪車で踏みつけてはいけないと思ったのでしょう。
結局、Ｙくんはアリが白線の上からいなくなるまでその場所で止まってアリを見ていました。

このことがある数日前、動いているアリを見つけて踏んでしまうということがあり、その時に先生から「虫にも命があって、それは自分の命と同じくらい大切なんだ」ということを教わったのでした。

夢中で三輪車を運転していても、ちいさな虫がいると気付いたこと、そしてその命を大切にしようとじっと待つＹくんの姿勢がとてもすてきだなと思いました。
Ｙくんは今も虫が大好きで、ダンゴムシやテントウムシを毎日見つけて観察しています。

毎日、プランターを見ていたら・・・

みどり野保育園では園庭にいちごが植えてあり、いちごの成長を楽しみに
プランターをみる子どもがたくさんいます。
Ｔくんもその１人で、赤くなったいちごを見つけるとプランターの名札と見比べて
自分の思ったことを保育士に話してくれました。



触ってみる

見る　「赤い」

食べてみる「甘い」

聞く
「赤い部分は全部食べていいよ」と伝えると実の部分を上手に全て食べていました★

いちごに興味を持ち、五感を使っていちごについて気づいたことを教えてくれる姿に感動しました。
大人は子どもの言葉を代弁しがちですが、子どもたちから出てくる言葉や行動を待ってあげることが大事だと思います。